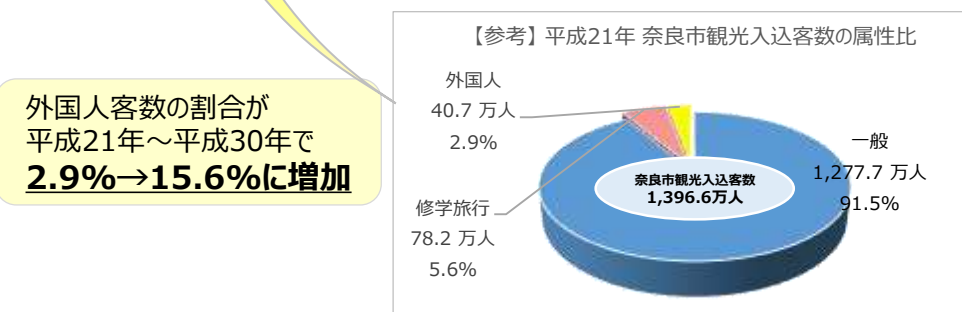
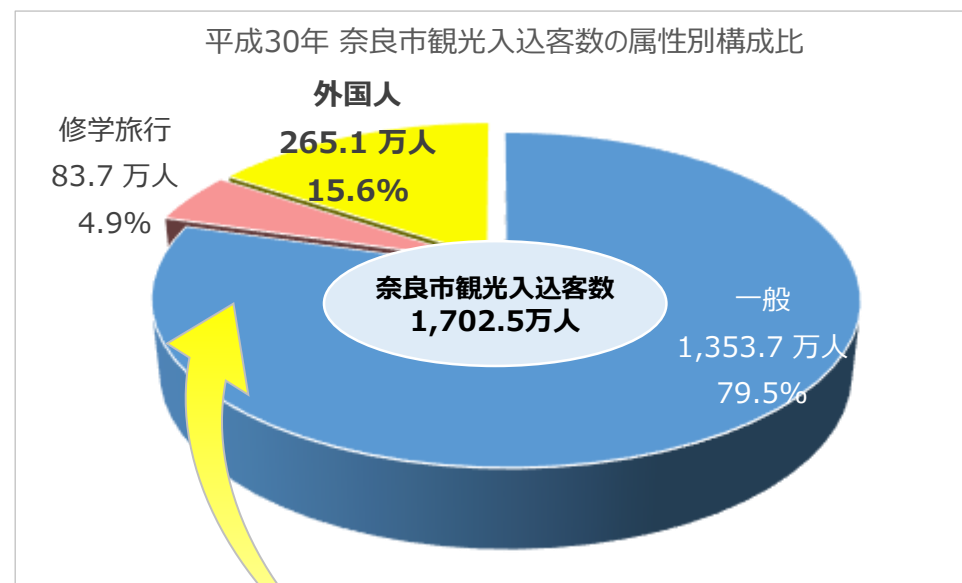
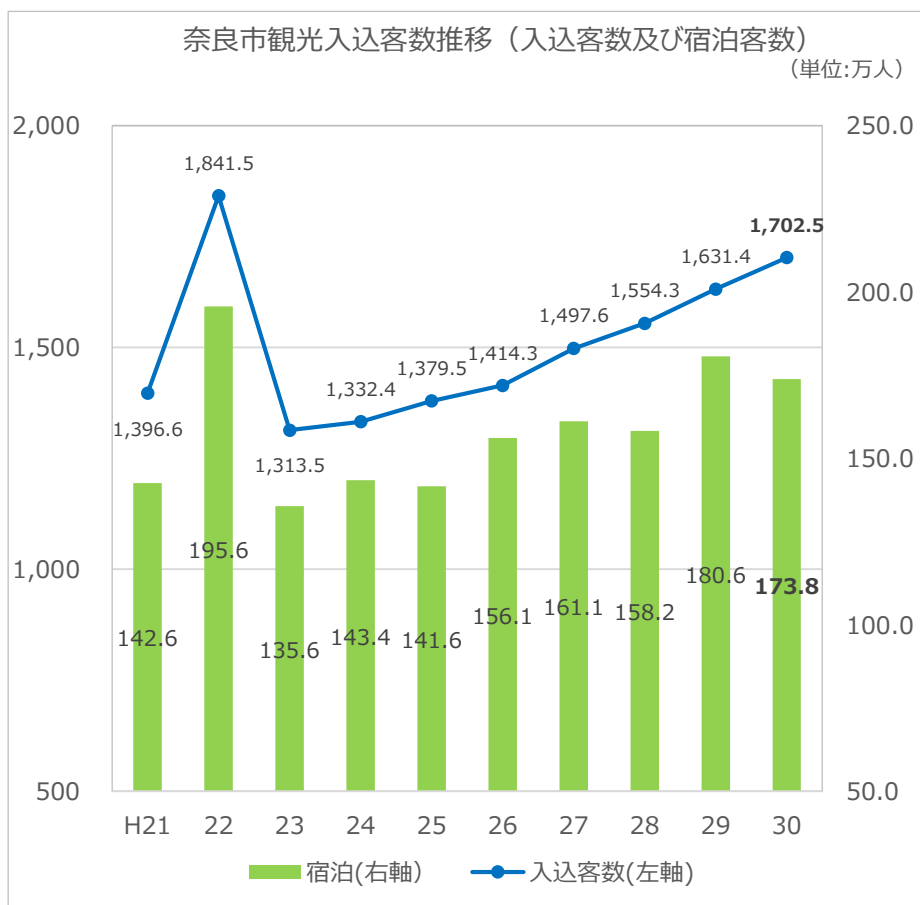


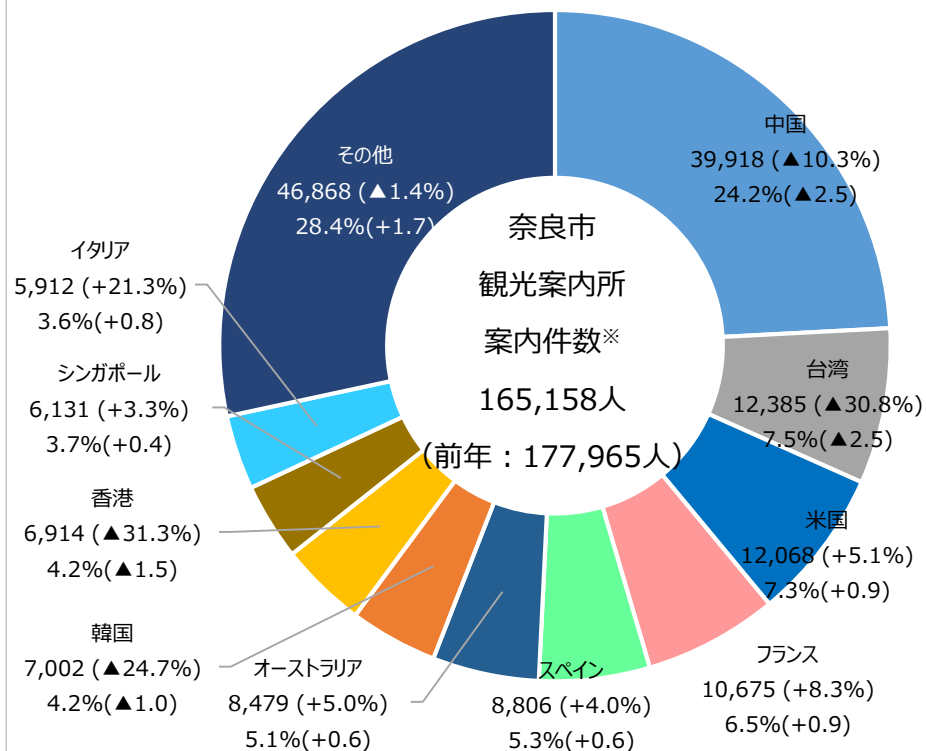
平成30年 奈良市観光入込客数

- 平成30年に奈良市を訪れた観光客は、1,702.5万人と、前年（1,631.4万人）に比べて71.1万人（4.4%）増加。
- 宿泊客数は173.8万人と、前年（180.6万人）に比べて6.8万人（3.8%）減少。
- 平成30年に奈良市を訪れた訪日外国人客数は265.1万人で、前年（199.0万人）に比べて66.1万人（33.2%）増加。入込客全体に占める割合も15.6%に増加している。

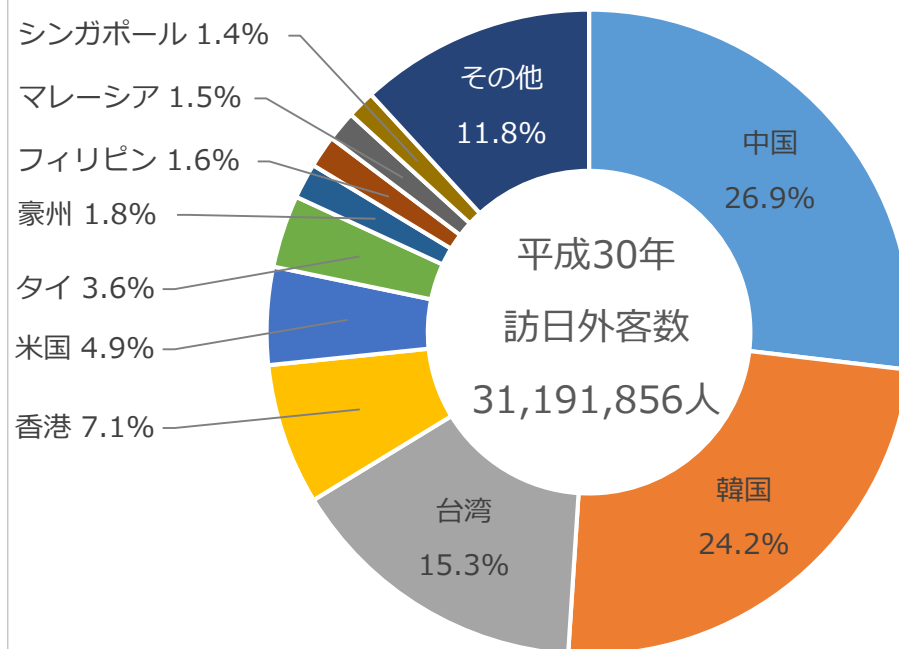


- 平成30年奈良市の観光案内所での案内件数※は約16.5万人。
- 国籍・地域別割合は、中国が最も高い（全体の24.2%）が、台湾、韓国、香港を含めた東アジアの案内件数が前年に比べて減少。一方、米国（7.3%）、フランス（6.5%）、スペイン（5.3%）、豪州（5.1%）の割合が増加。

平成30年奈良市観光案内所案内件数 国籍・地域別割合

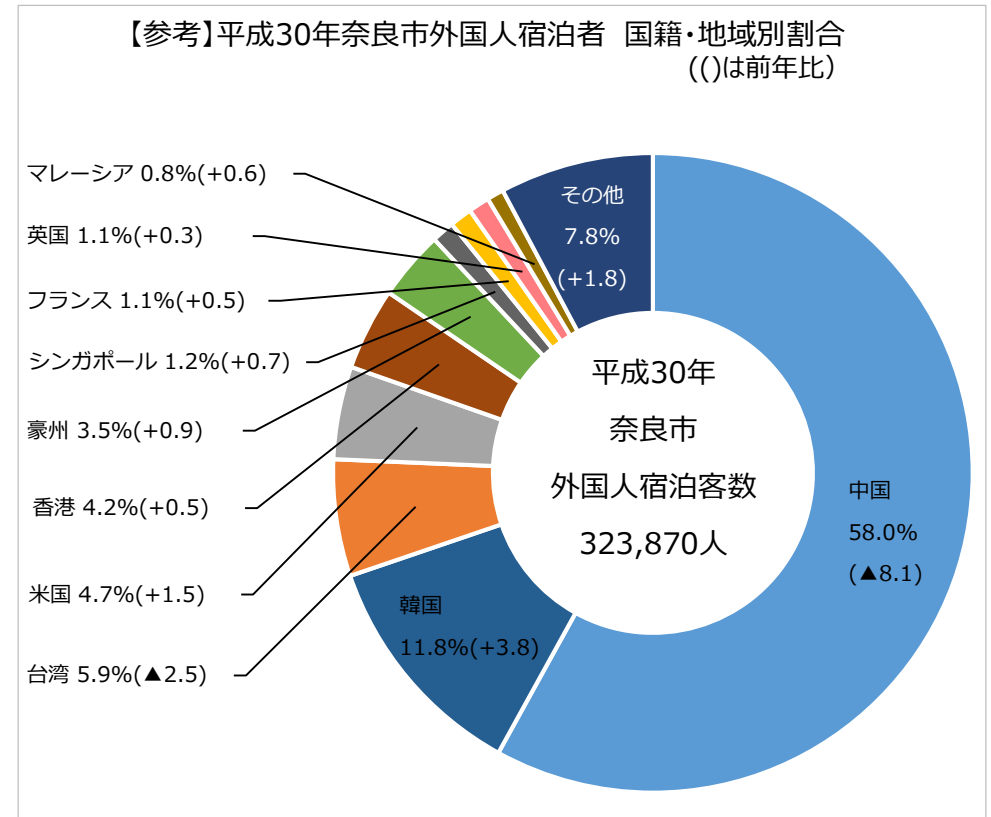
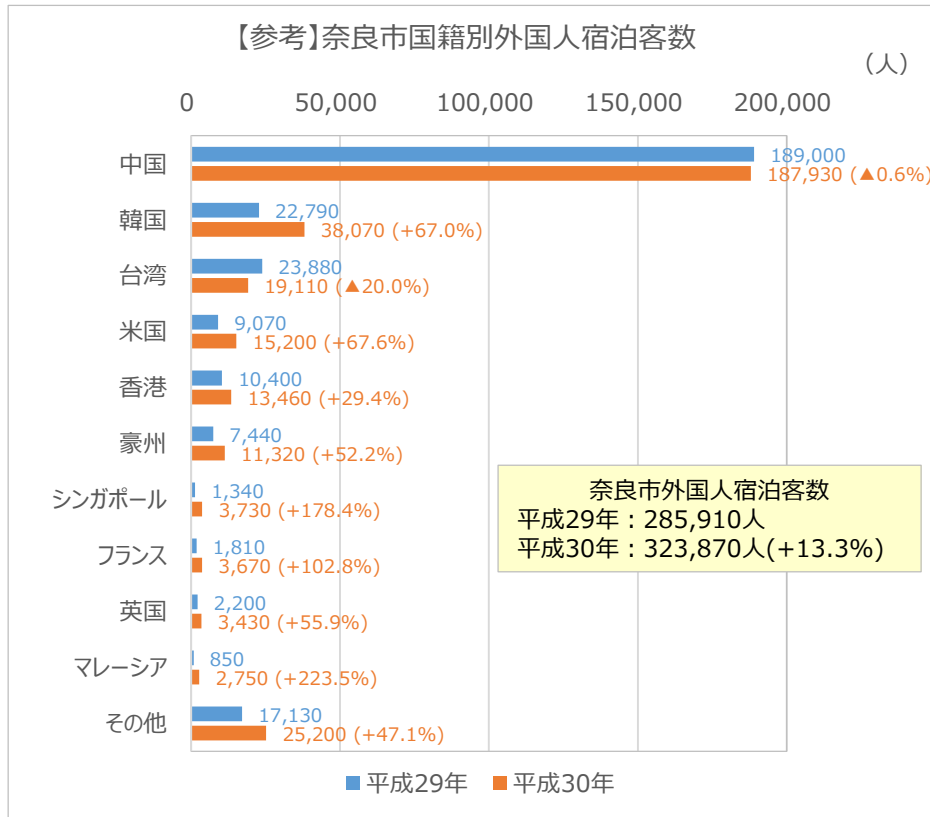


【参考】平成30年訪日外客数 国籍・地域別割合



※奈良市総合観光案内所と近鉄奈良駅観光案内所での案内件数合算値
奈良市観光センターはH29.6にNARANICLEにリニューアルされたため、
本データには含まれていない。

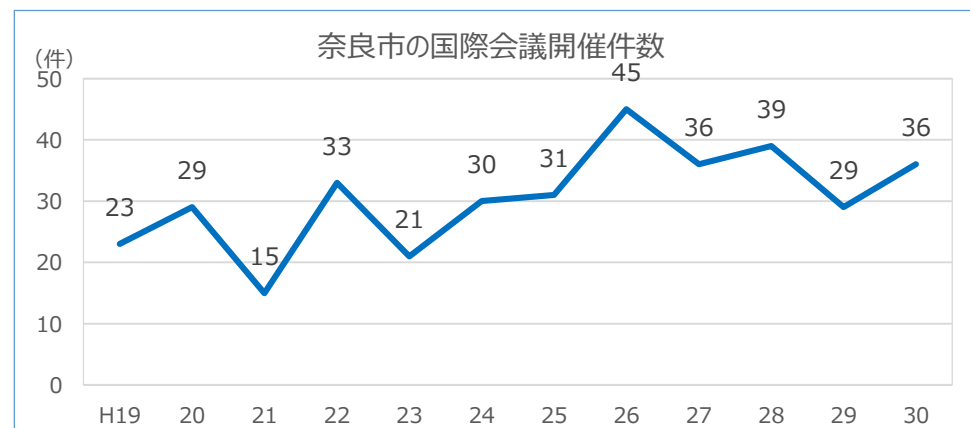
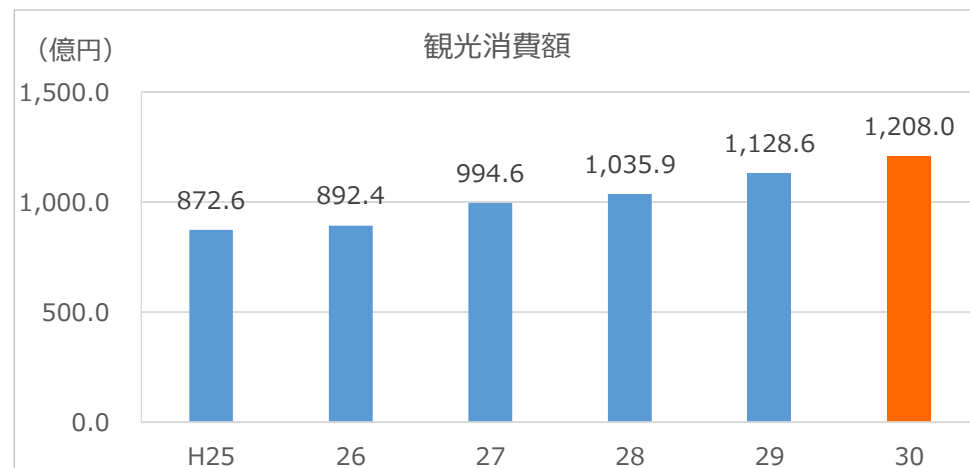
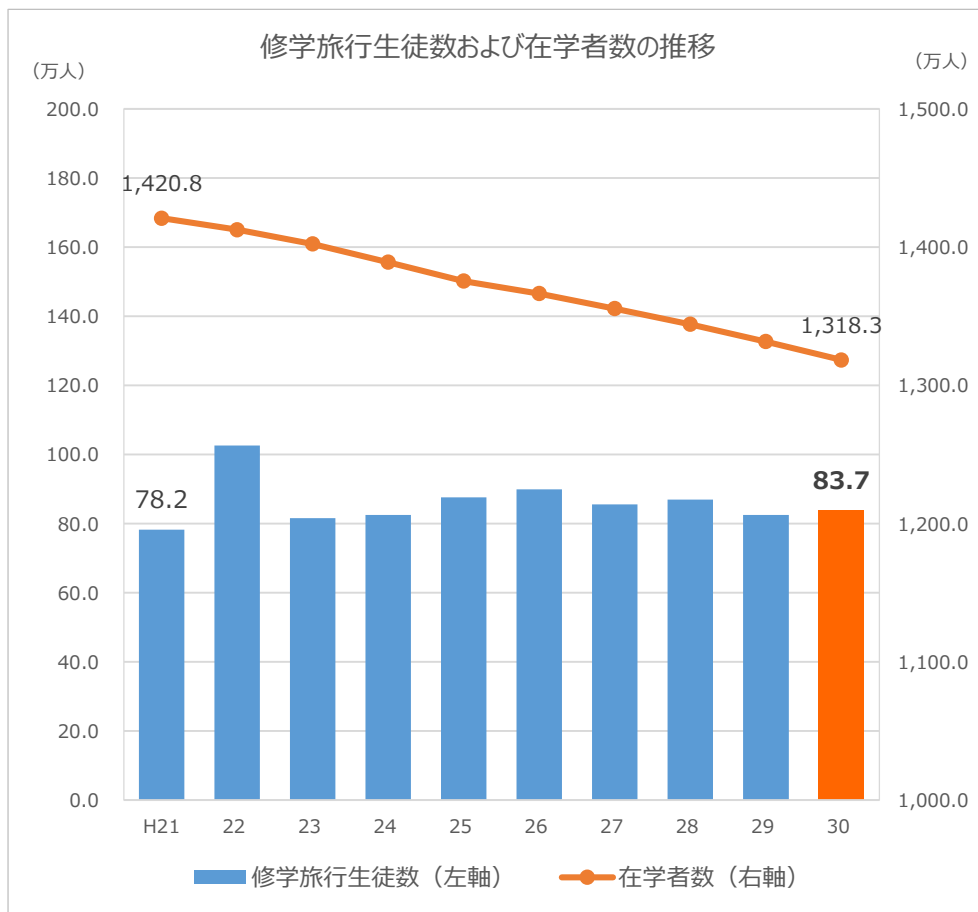
- 平成30年に奈良市に宿泊した訪日外国人観光客は、32.4万人で、前年（28.6万人）に比べて3.8万人（13.3%）増加。国籍別に見ると、中国が18.8万人で全体の58.0%を占めているが、前年（66.1%）に比べて8.1ポイントの減少。台湾を除く韓国、米国、香港等、様々な国籍の宿泊客が増加傾向。



観光庁「宿泊旅行統計調査」より、従業者数10人以上の宿泊施設を対象とした調査結果をもとに奈良市推計

- 修学旅行生徒数は83.7万人と、前年に比べて1.5%の増加。
- 過去10年の推移を見ると、ほぼ横ばいで推移。

- 奈良市内の観光消費額は約1,208.0億円で、前年に比べて79.4億円の増加。
- 平成30年に奈良市内で開催された国際会議は36件。



在学者数：文部科学省「学校基本調査」
()内は、H19年値と比較した増減率を示す。

出典：日本政府観光局 (JNTO) 国際会議統計